

平成21年度事業報告

(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

社団法人 東京都空手道連盟

1 空手道の講習会及び講演会の開催

空手道を究明し、その実践活動を通して広く斯道の普及、啓発を図り、豊かな肉体と精神を涵養^{かんよう}することにより、心身の健全な発展に寄与することを目的とした講習会、講演会を開催した。

日付	事業名	会場名	備考
平成21年7月11・12日	都道府県強化選手合宿	国士舘大学鶴川校舎第3体育館	200名
平成21年5月～12月	強化練習	国士舘大学・美竹の丘体育館	延べ700名

2 空手道大会の開催

生涯スポーツとしての観点から、幼年から中高年層を対象とした空手道大会を開催した。大会の実施に当たっては、広く会員に参加を呼びかけ、大会の成功と内部組織の充実強化を図った。

日付	事業名	会場名	役員・審判員等	参加選手
平成21年5月10日	第62回都民体育大会	東京武道館	71名	42チーム
平成21年5月31日	第23回東京都小学生競技大会	東京武道館	138名	2,306名
平成21年6月14日	第39回都選手権大会	東京武道館	132名	528名 10チーム
平成21年7月19日	第23回中学生大会	東京武道館	95名	1168名
平成21年11月29日	第16回シニアオープン空手道大会	新宿コズミックセンター	51名	449名

3 公認指導員及び審判員の養成並びに資格認定

(1) 公認指導員講習会を実施して優秀な指導者を育成するとともに、公認指導員有資格者については、上級の資格を取得すべく、文部科学省及び財団法人日本体育協会並びに財団法人東京都体育協会のスポーツ指導員講習会へ受講者を派遣した。

日付	事業名	会場名	参加者
平成21年10月～22年1月	スポーツ指導員養成講習会	荒川スポーツセンター他	受講者31名
平成22年2月28日	東京都公認指導員講習会	東大和市体育館	新規30名 更新36名

(2) 公認審判員講習会を実施して審判員を育成し、審判レベルを向上させるために、財団法人全日本空手道連盟の主催する地区及び全国公認審判員講習会へ受講者を派遣した。

日付	事業名	会場名	受講者
平成21年3月29日	第1回審判団編成講習会	東大和市体育館	全国25名 地区33名 A4名 B2名
平成21年4月5日	第2回審判団編成講習会	江東区亀戸スポーツセンター	全国24名 地区15名 A9名 B10名
平成21年5月3日	東京都公認審判員講習会	江東区スポーツ会館	更新者含A17名 B28名
平成21年5月3日	女子組手審判員講習会	江東区スポーツ会館	区郡市2名
平成22年2月28日	全空連指定形講習会	東大和市体育館	195名

4 公認段位審査会の開催

少年(8歳～15歳)の初段位・弐段位及び16歳以上の初段位から参段位までの公認段位審査会を主管・実施に加え、上級の公認段位を取得すべく、講習会などを開催し、財団法人全日本空手道連盟の主催する公認段位審査会への受審者を派遣した。

日付	事業名	会場名	受審者	合格者
平成21年4月19日	春季公認段位審査会	江東区深川スポーツセンター	少初78名 少弐7名 初53名 弐18名、参19名	少初77名、少弐6名 初45名 弐15名、参6名
平成21年10月11日	秋季公認段位審査会	千代田区スポーツセンター	少初44名、少弐6名 移初2名 移弐2名 初37名、弐16名、参15名	少初38名、少弐6名 移初2名 移弐2名 初29名、弐14名、参9名

5 空手道に関する関係諸団体の実施する諸事業に対する協力援助

- (1) 各競技団体(関東学生空手道連盟、東京都高等学校体育連盟空手道部、東京都中学校空手道連盟、東京都スポーツ少年団等)との交流を深め、関連する諸事業に協力した。
- (2) 東京都教育委員会及び財団法人東京都体育協会並びに財団法人全日本空手道連盟等、関係団体の事業に対し積極的に協力した。

①財団法人全日本空手道連盟

日付	事業名	会場名	参加者	備考
平成21年4月4・5日	全空連強化選手選考会	東京武道館	選手 10名	
平成21年8月8・9日	第9回全日本少年少女空手道選手権大会	東京武道館	選手48名	男子優勝 女子準優勝
平成21年9月18日	第5回全日本障害者空手道競技大会	静岡県武道館	選手 4名	
平成21年9月19～21日	日本スポーツマスターズ2009 空手道競技	静岡県武道館	選手 18名	
平成21年10月2～4日	第64回国民体育大会	新潟県燕市体育館	選手 10名	男女総合4位 女子総合6位
平成21年12月12日	第37回全日本選手権大会(団体戦)	東京武道館	2チーム	女子優勝
平成21年12月13日	第37回全日本選手権大会(個人戦)	日本武道館	選手 4名	動員 2215名
平成22年3月27～29日	第4回全国中学生空手道選抜大会(はまなす杯)	北海道北広島市総合体育館	選手 24名	総合男子1位 女子8位

②財団法人全日本空手道連盟関東地区協議会

日付	事業名	会場名	備考
平成21年6月14日	地区公認形審判員講習会	千葉県スポーツセンター	受審5名 合格5名 更新11名
平成21年8月22・23日	第40回関東空手道選手権大会	千葉県浦安市総合体育館	総合優勝
平成21年10月25日	第12回関東中学生選手権大会	山梨県小瀬スポーツ公園	参加選手 45名 8チーム
平成21年12月5日	地区公認組手審判員講習会	日本空手道会館	受審19名 合格11名 更新31名
平成21年12月6日	公認四・五段位審査会	日本空手道会館	四段位=受審25名 合格14名 五段位=受審12名 合格4名
平成21年2月14日	関東地区審判講習会	日本空手道会館	受講者 32名(東京)

③財団法人日本武道館

日付	事業名	会場名	備考
平成21年8月1日	第33回全日本少年少女武道錬成大会	日本武道館	

④東京武道館

日付	事業名	会場名	参加者
平成21年7月24・27・30日	夏休み武道体験教室	東京武道館	21名
平成22年2月11日	第9回東京武道館杯	東京武道館	選手123名

⑤全日本中学校空手道連盟

日付	事業名	会場名	参加者
平成21年8月29・30日	第17回全国中学校選手権大会	福岡県北九州市立総合体育館	32名

⑥スポーツ少年団

日付	事業名	会場名	参加者
平成21年7月25・26日	第6回関東ブロックスポーツ少年団競技大会	埼玉県武道館	
平成21年10月17日	東京都スポーツ少年団大会	東京武道館	350名

⑦公認指導員並びに審判員の養成と資格認定

日付	事業名	会場名	備考
平成21年4月11日	全国公認形審判員講習会	東京武道館	受1名 合0名 更6名
平成21年4月11・12日	全国公認組手審判員講習会	東京武道館	受18名 合5名 更14名 ランク18名
平成21年7月26日	スポーツ指導員養成講習会	千葉県スポーツセンター	受講者80名
平成21年9月13日	日体協公認コーチ更新講習	名古屋枇杷島スポーツセンター	受講22名
平成21年11月28日	公認六段位審査会	日本空手道会館	受12名 合3名
平成21年11月29日	公認七段位審査会	日本空手道会館	受0名 合0名
平成22年3月7日	公認八段位審査会	日本空手道会館	受3名 合0名

(5)選手選考会の開催

日付	事業名	会場名	参加者
平成21年4月18日	都空連強化選手選考会(成年)	国士舘大学世田谷校舎空手道場	選手80名
平成21年5月7日	都空連強化選手選考会(少年)	国士舘大学世田谷校舎空手道場	選手20名
平成21年6月7日	全国中学生・関東中学生大会代表選手選考会	江東区東砂スポーツセンター	選手90名
平成21年6月7日	日本スポーツマスターズ代表選手選考会	江東区東砂スポーツセンター	選手28名
平成21年6月7日	関東大会代表選手選考会	江東区東砂スポーツセンター	選手20名
平成21年10月15日	全日本大会代表選手選考会	国士舘大学世田谷校舎空手道場	選手20名

6 空手道に関する調査研究

科学的な視点からの空手道全般に対する調査研究は実施できなかった。

7 空手道に関する刊行物の発行

本連盟の活動内容や事業、関係諸団体や各区郡市本部の諸事業に関する「都空連ニュース」を発行した。

号 数	発 行 日	発行部数	配 布 先
2101	平成22年3月	10,000部	関係団体及び区郡市本部

8 その他、この法人が目的を達成するために必要な事業

(1) 財源の確保の基礎となる正会員等の拡大を図った。

(2) 選手権大会及び諸事業を推進させるために、広く財源を求めた。

(3) 区郡市幹事長会議及び同連絡会議を開催して、各区郡市本部からの意見を広く聴取し、それを本連盟の運営に反映させ、組織の強化充実を図るために努力した。

日 付	事 業 名	会 場 名	参 加 者
平成 21 年6月8日	春季区郡市幹事長会議	都空連事務所	51 名
平成 21 年 11 月 26 日	秋季区郡市幹事長会議	都空連事務所	52 名

(4) 会員一人一人が参加できるような運営形態を維持していくために、各区郡市本部の行事を後援した。

(5) 総会及び理事会の開催

① 通常総会を年2回、定款の定めるところにより開催した。

② 理事会を定款の定めるところにより開催した。

(6) 幹部中央研修会等のあらゆる機会をとらえて、連盟の運営等についての意見を広く掌握し、組織の充実・強化を図った。

日 付	事 業 名	会 場 名	参加者
平成 22 年 1 月 24 日	平成 22 年度幹部中央研修会	都空連事務所	20 名

(7) 国際都市東京都の空手道連盟として、諸外国・諸団体との交流を行ない、斯道の普及と親善を図った。

(8) 斯道を通じて広く都民の体位向上と、青少年層に対する健全な心身の育成に重点を置き、区郡市本部を基盤とした本連盟の充実発展を図った。

(9) 生涯スポーツの視点から、中高年層への普及活動を積極的に行なった。

(10) エンブレム、ネクタイ、ワッペンなどあっせんを行なった。

(11) インターネットのホームページを活用し、広く情報収集・提供を図った。